



The Production Management Training Program for Mexico [MXPM]

# メキシコ生産管理研修コース

## コースの特徴

現場で直接生産管理に携わる中・上級管理者、工場長等が日本の製造企業のものづくりの考え方、手法を理解し、自社工場において生産活動を効率よく進めるため生産管理能力の向上を図ることができます。

### 第一段階:

日本の製造業の現況、日本の「ものづくり」の考え方、日本の優れた製造業が実践している生産管理について理解していただきます。

### 第二段階:

#### 演習

5Sや目で見える管理など生産性向上に必須な改善手法、製品品質及び生産性を向上させるための実用的な生産管理手法について学びます。

#### 企業見学

実際にこれらの管理手法が、どのような実践されているのかについて理解を深めていただきます。

### 第三段階:

#### 最終レポート発表会

日本的生産管理手法を自社に導入・実施し、推進するための具体的な行動計画を策定し、発表していただきます。

■ 日時 : 2019年12月4日～12月17日 (2週間)

■ 研修場所 : AOTS関西研修センター

■ 対象者 : 海外拠点及び海外取引先の中・上級管理者または工場長

■ 研修費 : 参加費の一部に国の補助金が適用されます。お見積りいたしますので、お問い合わせください。  
**※メキシコ居住の海外拠点の現地人材が対象です。**

## お問合せ・お申し込み先

AOTS

検索

QRコードからも参照できます

一般財団法人海外産業人材育成協会 (AOTS)

〒104-0061 東京都中央区銀座5-12-5 白鶴ビル4階

研修・派遣業務部 研修業務グループ **お申込締切: 2019年10月15日 (火)**

EL : 03-3549-3051 Email : g-ukeire-ak@aots.jp



## コース日程

※講義や演習はすべてスペイン語で行なわれます。

月/日	午前	午後
12月4日 (水)	オリエンテーション / 開講式	講義：日本・メキシコ企業経営比較 ・日本企業とメキシコ企業の経営スタイルの特徴的な点の比較
5日 (木)	講義生産性向上活動の進め方-概論 ・TQM,TPM,TPSなど日本型(全員参加)の改善活動の特徴とポイント ・問題や課題の捉え方改善に向けての活動の進め方	講義：生産性向上や改善活動を上手く進める方法(3Sを中心に) ・3Sなどを通じた現場での生産性向上や改善活動の進め方
6日 (金)	講義：コスト・効率(IE)改善の進め方 ・ムダ、ロスとはどのようなモノか ・ムダに着眼してIE手法を用いた改善	演習：ムダ取り改善の実践法(体験型改善演習)① ・チームによる改善の進め方 ・組み立てライン演習を通じてIEによるムダの分析方法
7日 (土)	休日	
8日 (日)	休日	
9日 (月)	演習：ムダ取り改善の実践法(体験型改善演習)② ・標準作業の作り方および、ビデオによる事例研究	講義：JITと自動化・向上の流れ作りの進め方(トヨタ生産方式の理解と実践法) ・組立ライン演習を通じた分析から改善案の作成、実践までの進め方
10日 (火)	演習：品質管理と歩留まり改善の進め方(小集団活動の体験型改善演習) ・なぜなぜ分析(不良、品質改善の原因追求方法) ・QC手法の基礎知識 ・ボール発射機の改善演習を通じた現状把握の方法	講義：設備改善と稼働率向上活動の進め方 ・ボール発射機の改善演習を通じた要因の洗い出し ・仮説検証、対策立案の進め方
11日 (水)	企業等見学(遠隔地)	見学：生産性向上事例
12日 (木)		見学：改善活動事例
13日 (金)		見学：日本の生産システム事例
14日 (土)	休日	
15日 (日)	休日	
16日 (月)	講義・演習：QCサークル活動 ・QCサークル活動の概要および、効率的な進め方	
17日 (火)	最終レポート発表	最終レポート発表 / 修了式

### AOTS関西研修センター

宿泊施設(食事付き)を併設した研修施設です。

(大阪府大阪市住吉区浅香1丁目7-5)

